

週刊新潮

10月25日号
300円



40

アスキー「西和彦」が始めた 有料掲示板の評判

「アスキーを立ち上げた時の興奮を1、『週刊アスキー』をリニューアルした時を4・5とすれば、今回は10ぐらい興奮しているね」

10月4日、アスキー特別

顧問の西和彦氏(45)は、ネット掲示板「2ちゃんねる」に對抗して「1ch.tv」を開局すると発表。悪辣な書き込みを排し、「誰でも安心して使える」掲示板として、1日40万人の利用者を目指すとブチ上げた。

掲示板のスタイルは「2ちゃんねる」とほぼ同じ。

ただし各分野ごとに編集長を置き、不適切なものは削除する権限を与える。さらに1本5・10円程度を課金して筆者に還元する「有料」掲示板も作るという。

玉石混交、何でもアリの「2ちゃんねる」に對抗して、清く正しく「有用な」掲示板を作ろうというのだ。

今年の6月に、私がアスキーの役員を辞めた時のこととすわ。2ちゃんねるに、私が脱税してるだの何だのと、事実無根の中傷が書き込まれていたんです」

西氏ご本人が言う。

「言われたばなしではアカンと思って、私は書き込み全部に反論を出しました。丸3日間寝る時間以外はずーっ

と書き込んでたんですよ、ホンマに。でもフツと気付いたんです。こんなに頑張ってる、一文にもならんのは初めてやな、って」

そこで西氏は、プリペイドカードで電子決済する技術を持つバリュー・エクスチェンジ社の清水康司社長と組んで、有料化のシステムを考案したという。

「本当に価値ある情報なら5円や10円ぐらい出しますよ。1万人が読めば、編集者にコキ使われているライターの原稿料ぐらいにはなりますわな。地べたを這いずり回って記事を書いている彼らのパワーが発揮できる場所にしたんです」

つまり、新聞社や出版社を排した「究極の中抜き」をやるといっているのである。

ずいぶんとスケールの大きい話だが、では実際に10月5日から試験運用が始まった「1ch.tv」の掲示板を訪れてみると、何とも寒い状況となっている。

各分野の書き込み数は10・30程度しかなく、その多くが「1ch.tv」を嘲笑する無意味な内容。こんな

な状況でホントに大丈夫!? 「いや、あれはワザとあやうって、今の匿名掲示板の書き込みのヒドさを皆さんに提示しているのです」

と、西氏は余裕のお答え。「いいですか。私はアスキーという出版社を持つてい

桂文我「おやこ寄席ライブ」定期公演の合間をぬって、小学生にアレンジした古典落語を聞かせる「おやこ寄席」を10年前から続ける落語家の桂文我さん。テレビゲームに馴れた現代の子供達も、言葉の意味をわかりやすく伝える工夫次第で、落語に集中して耳を傾けるようになるといいます。

全国各地で年間に50・60回上演している子供向寄席の中でも、特に人気の高い「まんじゅうこわい」「たぬきのサイコロ」「どうぶつ屋」などのライブをCDに収録(写真)。1枚に3話分をおさめた全5巻。歴史や日本語の教育にもなる。



複数のアドレス帳をイッきに更新!「アドレスステーション2」

メールソフトやはがき作成ソフトなど、バラバラに作製した住所録を統合したいと思っても、マニュアルを読んでも複雑な操作をするのは億劫なもの。

「アドレスステーション2」は、簡単な操作でデータをまとめて管理することができ、「Outlook Express」や「筆まめ」「宛名職人」(携帯電話)など、主要なソフトのアドレス帳に蓄積されたデータを統合。一方のアドレス帳を更新するだけで、他のアドレス帳の内容も自動的に更新されるシンクロナイズ機能を搭載。(7800円。0120(01)8456)

「2ちゃんねる」など敵ではないそうだが、そう上手くいきますことやら。

IM

サーバーなどに約400万円を投資したという

Guide

8(3411)

1巻2000円 5巻セット1万円。03(326

120(01)8456)